

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	篠塚康典
所属機関名	獣医学部獣医学科
職位	教授
在籍年	11.5

教育の責任

獣医学部獣医学科に所属し専門科目である産業動物臨床分野を中心とした教育・研究活動を行っている。主たる教育活動は産業動物臨床に関連する科目（産業動物臨床学、産業動物臨床実習、臨床繁殖学、臨床繁殖学実習、総合獣医学演習）の担当、研究室生の研究支援（獣医学特論Ⅱ、卒業論文）である。

教育の理念

教育のあるべき目標は、自ら問いをたて、自分の頭で考え、自ら解決する力をもった人材を育成することだと考えている。実社会において、問題解決能力は必須であるが、このことを担当科目である大動物臨床分野を通して学んでいただきたい。具体的には、疾病の正しい診断からその発生要因を分析（問をたてる）、実施すべき適切な対策を考え、行動にうつすことによって疾病予防と生産性向上につなげるという一連の流れの学びと体験を通して、自分の頭で考えることの重要性を伝えたい。

教育の方法・方針

- ・ 国家試験問題を意識したスライド作成を心掛けている。
- ・ 基本方針は「産業動物臨床の魅力を伝える」としている。
- ・ 折に触れ臨床の経験談を話す。
- ・ 卒論は「自ら問いを立て、自ら解決する」ことを基本としている。
- ・ 研究成果は学会発表あるいは論文化するなど形に残す。
- ・ 自分の頭で考える機会を設ける。

教育の成果

講義では、学生から「スライドが勉強しやすくわかりやすかった」、「産業動物の疾病への理解が深まった」、「国試を見据えたものなので情報量が多かった」等の意見があり一定の成果が得られた。講義に対する満足度は 92%（満足 67%、ほぼ満足 25%）と良好だった。

実習では、学生から「実際に牛を使った実技では、先生方の雰囲気良かったうえ、各班にひとりずつ先生がついてくださり疑問に思った些細なことでも質問しやすかった。また、実際の臨床現場で使えそうなことをたくさん教えてくださったのも良かった」、「(実習中の)講義では、毎回小テストが行われたため、知識の定着や理解していなかった部分が確認できたのが良かった」等のコメントがあり、産業動物系教員が協力して取り組んだ成果が得られた。実習に対する満足度は 100%（満足 95%、ほぼ満足 5%）と良好だった。

今後の目標

現在の取り組みを継続するとともに、学生をできるだけ現場（農場、学会など）に連れていき

本物の体験をさせる。卒業研究を通して自分の頭で考える機会を多く与える。

根拠資料

・授業評価アンケート結果